

NEW

小核試験／コメント試験受託サービス

遺伝毒性試験である小核試験／コメント試験の受託サービスです。目的や被験物質の特性に応じて柔軟に試験設計を変更することも可能です。詳細は、当社受託・特注品担当までお問い合わせ下さい。 [メーカー：TRG]

試験名	小核試験		コメント試験
		小核を観察することにより、被験物質の染色体異常誘発性を評価する試験です。	
使用細胞／動物	ヒトリンパ芽球由来 TK6	若齢のマウス、ラット	マウス、ラット
検査・実験	<ul style="list-style-type: none"> 細胞培養 用量設定試験（必要に応じて） 細胞増殖抑制制度測定 小核観察 ・サイトカラシン B を添加して培養することにより、被験物質処理後に分裂を完了した細胞だけを観察可能です。 ・代謝活性化系（S9mix）存在下、非存在下による短時間処理法、代謝活性化系非存在下による連続処理法の 3 条件で実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 投与（単回あるいは 2 回など） 体重測定 一般状態観察 小核観察 	<ul style="list-style-type: none"> 投与（2 日以上） 体重測定 一般状態観察 コメント測定
納品データ	GLP 試験：概要・方法・結果・考察を詳述した「詳細タイプ」を提出いたします。 非 GLP 試験：結果の概要のみを記述した「簡易タイプ」または概要・方法・結果・考察を詳述した「詳細タイプ」のいずれかをご選択いただけます。		

※オプションとして、用量設定試験、病理組織学的検査、被験物質／投与液分析なども承ります。



Web ページ番号

5776

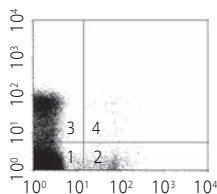


小核試験をわずか 1 日で行えるキット MicroFlow Kit

遺伝毒性の指標とされる小核試験を、フローサイトメトリー（FCM）で行えます。

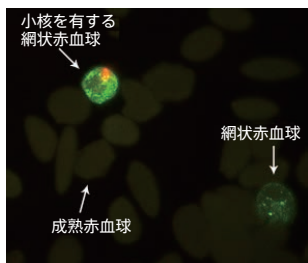
in vivo MicroFlow Kit

- ラットやマウスの血液または骨髓試料における赤血球から小核を検出するキットです。
- 試料は固定後に保存可能なため、経時的な測定に最適です。
- PE 標識抗 CD61 抗体で認識した血小板のシグナルを FACS 解析で除くことにより、小核を特異的に検出できます。



in vivo MicroFlow Kit を使用したフローサイトメトリー解析例

- 成熟赤血球
- 小核化した成熟赤血球
- 網状赤血球
- 小核化した幼若赤血球



in vivo MicroFlow Kit を使用したマウス血液の染色像

in vitro MicroFlow Kit

- 培養細胞における小核を検出するキットです。
- 2 種類の細胞染色試薬を用いることで、ネクロシスおよびアポトーシスを起こした細胞が小核とは区別されるので、小核を特異的に検出できます。
- 浮遊細胞および接着細胞のいずれにも使用できます。

品名	メーカー	商品コード	包装 /	価格 (¥)
in vivo MicroFlow Plus Kit, Blood				
LIT TRIALPLUS-M	-80°C	Mouse (15 tests)	1 kit /	285,000
LIT PLUS-M	-80°C	Mouse (60 tests)	1 kit /	707,000
LIT TRIALPLUS-R	-80°C	Rat (15 tests)	1 kit /	285,000
LIT PLUS-R	-80°C	Rat (60 tests)	1 kit /	707,000
in vivo MicroFlow Plus Kit, Bone Marrow				
LIT PLUS-MBM	-80°C	Mouse (60 tests)	1 kit /	753,000
LIT PLUS-RBM	-80°C	Rat (60 tests)	1 kit /	753,000
In vitro MicroFlow Kit				
LIT InVitro-250/50		50/250 tests*	1 kit /	331,000
LIT InVitro-1,000/200		200/1,000 tests*	1 kit /	832,000
LIT InVitro-2,000/400		400/2,000 tests*	1 kit /	1,209,000

*マイクロチューブを用いた場合のアッセイ数/96 ウェルプレートを用いた場合のアッセイ数